

企業市民としての活動

国際交流への積極的な取り組み

平成10年、「アジア人材育成基金」を設立しました。これは、アジア諸国の現地学校に対する教材支給や奨学金の給付を通じ、人材育成に寄与することを目的としたもので、初年度はタイ国の24校へ教材を支給し、24名に奨学金を支給しました。



また、平成元年に設立された「(財)第一勧業銀行慈善事業愛心基金会」は慈善活動を台北中心に展開しています。

銀行業務を通じた社会貢献活動

銀行業務を通じた社会貢献活動としては、(財)世界自然保護基金日本委員会(WWF Japan)に寄付できる「ハートの自然環境保護口座」や、日本赤十字社を通じて被災者に寄付ができる「サポーターズ」などの専用総合口座を取り扱っています。

行員のボランティア活動の支援

「ボランティア休暇制度」などにより、行員のボランティア活動を支援しています。また「DKB小さな親切運動の会」では、清掃活動を行う「日本列島クリーン作戦」を毎年実施しています。さらに全国のお客さまや当行行員から使用済切手・使用済テレホンカードの収集を行い、発展途上国の社会福祉の向上に役立てています。

「はあと記念財団」による活動

当行の創立を記念して設立された「はあと記念財団」は、へき地教育、障害児教育、老人福祉などへの助成を中心に幅広い活動を行っています。なかでも全国老人ホームへの自動車「はあと号」の寄贈は平成10年度も6台実施され、累計で211台に達しています。



メセナ活動

わが国および世界の文化の発展・向上に貢献するために、これまで「フィレンツェ・ルネサンス 芸術と修復展(平成3年)」「ループル美術館200年展(平成5年)」「オルセー美術館展(平成8年)」などへ協賛してきました。これらに続き、本年6月から開催されている「オルセー美術館展1999」の協賛も行っています。

災害に対する支援活動

前年度は、パプアニューギニアの津波被害(平成10年7月)に対する行員の義援金を日本赤十字社へお送りしたほか、中国の長江流域における水害に対しても寄付を行いました。

なお、当行では阪神・淡路大震災(平成7年1月)をはじめ、中国雲南省西北部での地震災害(平成8年2月)などに義援金をお送りしたほか、日本海におけるタンカー重油流出事故(平成9年1月)では、当行行員による重油回収のボランティア活動も実施するなど、国内外の災害に対し支援を行っています。